

間伐跡地への植樹による景観づくり



メンバー：(5期) 加藤秀美
(11期) 稲垣寛子

★現状・課題

- 岡崎市夏山町ウルシガイツにある白山社の参道(700m)は、以前は、お参りに来る人も多く、横を流れる沢は水遊びなど憩いの場であった。
- 参道の両側は60年程前にスギが植林されたが、今は放置林で、沢の流木や倒木も放置されている。
- 3年前から一部の山主さんと協同で間伐を始めた。



★目指すべき姿

【山主さんの声】
参道脇の森林に「桜」を植えて明るくしたい!

- ・放置林や放置された沢の整備・清掃
- ・丸太ベンチを設置
- ・参道脇に桜を植樹

- ・参道に相応しい景観
- ・賑わいの復活
- ・環境学習や地元の方々の交流の場づくり

地域の活性化



白山社



薄暗い参道



桜の咲く明るい参道のイメージ



地元の方々の交流の場

★活動の内容(令和元年度)

- ①モデルケースとして、ウルシガイツの森林一箇所約210㎡に植樹を行う。
- ②参道の脇の間伐跡(約3m)に土を入れ、交流の場と駐車場をつくる。
※夏山地区で8月に行われる砂防工事で出る残土を活用する。
※地元山主様保有ユンボ、重機による整備を行う。
- ③河津桜10本~15本を植樹する。
- ④沢の流木撤去やごみの清掃を行う。



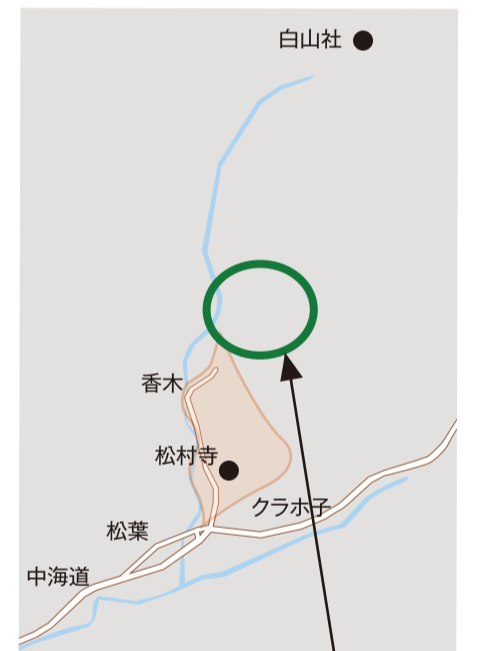
河津桜の苗木



間伐作業



整地作業



第1次整備エリア

★活動の成果・反省

<成果>

- 山主さん、地元の方およびボランティアの方々に間伐・沢の清掃と河津桜の植樹に参加してもらうことができた。

各主体との連携・協働

環境保全

- 地元の方々が作業に参加してくれたことで、この活動の理解が深まり、地域の自主的な清掃活動などにつながった。

地元との合意形成

環境への関心の高まり

<反省>

- 予定していた、地元の砂防工事の残土が水分過多で利用できず、別途残土を購入することになった。山の工事は専門的な知識を要するので、今後は、専門家とともにもっと綿密に計画を立てる必要がある。



地元の方々

★今後の展開

- 今後は、地元の大学等と協力してSDGsや生物多様性に関する環境学習を進めたい。
- 間伐材で作る丸太ベンチとテーブルを設置し、地元の方の交流を促進する。将来的に、山主さんが望むBBQ設備や水遊び場を整備し、アウトドアで地域振興を図りたい。
- 今年度は、仲間内で、炭焼き体験、ロケットストーブ製作体験を実施。今後は、一般の方も参加できる体制を整える。
- 沢の流れがうねっており、大雨が降ると山をえぐってしまうため、護岸工事を行政に提案したい。